

平成24年度

啓発ビデオの紹介

相生市教育委員会

桃香の自由帳（36分）

小学2年生の桃香が学校からかえってくると、母・日菜子は留守で、家の鍵も持っていない…。

このドラマは、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。東日本大震災後、改めて見つめ直されている「人と人とのきずな」。支え合って共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。



探梅(たんばい)（40分）

亜紀（40）が、北九州市に引っ越して初めての冬が来た。世話好きで有名な邦子（63）が何かと声をかけてくれるが、亜紀にとっては余計なお世話だ。しかし、愛猫が家出をしてしまったため、苦手な邦子に助けを求めることになる。

人と人のつながりや助け合いの根底となる人権尊重について考えていただければ幸いです。



いわたくんちのおばあちゃん（20分）

小学生の寛太は、友だちのおばあちゃん（ちづこさん）の話を聞くうちに、原爆や戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。この作品は、昭和20年8月の広島で起こった実際の話がもとになっています。平和や命の大切さを学校で、地域で、家庭で話し合っていたきたいと願っております。



人権のヒント（25分）

喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いや思いやる心の大切さを理解していく内容です。地域の何気のないくらしから「思いやり」を考えてみませんか。



ひびけ！和だいこ（22分）

美雪たちは学習発表会に向けて公民館で和太鼓の練習していた。メンバーの一人の啓吾はリズム感がよくないため多数決によってチームから外されてしまう。

そんな時、公民館に地域住民から太鼓の音がうるさいと一方的に練習の中止を言い渡される。

そこで、子どもたちは勇気をもって地域のおとなたちと話し合うことにする。



名前… それは燃えるいのち

（18分）

桜が舞い散る、新学期。4年3組の新しい担任になったのは、姜明子（カン・ミョンジャ）先生でした。ある日、お互いの名前のことで、ケンカをした「よりか」と「平吉」に「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表してください！」と先生は二人に宿題を出します。

翌日、みんなの前で発表することになった二人は…。

